

平成 19 年度事業計画書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【 1 】 研究助成事業 (72,559 万)

1. 公募研究助成 (2,200 万)

- (1) 公募自由課題研究助成 (@100 万×10 課題=1,000 万)
臨床・予防医学・疫学・基礎医学に対する自由課題による研究助成
- (2) バイエル循環器病研究助成 (@500 万×1 課題・@250 万×2 課題=1,000 万)
[テーマ] 循環器病の新しい画像診断
- (3) 循環器疾患看護研究助成 (@20 万×10 課題=200 万)
循環器疾患看護に対する研究助成

2. 指定研究助成 (66,948 万)

個別研究

- (1) 血管病変の早期診断法における画像処理技術の向上に関する研究 (1,472 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター放射線医学部 部長・飯田秀博
- (2) 標準化可能な実験的脳卒中あるいは動脈硬化病態モデルの開発とそれらを用いた新規合成化合物の薬効評価に関する研究 (475 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター研究所病因部 部長・宮田敏行
- (3) 高脂血症に関わる新規遺伝子および蛋白質の検索 (549 万)
[研究代表者] 国立循環器病センター 病院長・友池仁暢

- (4) 循環器疾患における IGF-1 と幹細胞移植の複合治療法の開発と臨床応用 (285 万)
 [研究代表者] 独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 院長・宮武邦夫
- (5) 蛋白性医薬品の新規製剤化のためのキャリアー材の開発に関する研究 (285 万)
 [研究代表者] 国立循環器病センター研究所 研究所長・菅 弘之
- (6) メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究 (475 万)
 [研究代表者] 国立循環器病センター動脈硬化・代謝内科 部長・吉政康直
- (7) 循環器疾患に合併する呼吸器疾患の基礎的・臨床的病態解明 (95 万)
 [研究代表者] 国立循環器病センター心臓血管内科 部長・野々木 宏

多施設共同研究

- (8) 電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP) (1,900 万)
 [研究代表者] 東北大学大学院医学・薬学研究科臨床薬学 教授・今井 潤
- (9) 虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS) (4,100 万)
 [研究代表者] 京都府立医科大学大学院医学研究科放射線診断治療学 教授・西村恒彦
- (10) 心筋梗塞症急性期および慢性期の薬剤を用いた治療に関する大規模薬剤効果比較試験 (J-WIND) (12,500 万)
 [研究代表者] 国立循環器病センター心臓血管内科 部長・北風政史
- (11) スタチン製剤による心血管系への多面的作用 (2,200 万)
 一日常診療下における心原性脳塞栓症発症に関する観察研究 (STACIN)
 [研究代表者] 医療法人紀陽会田仲北野田病院 院長・中 眞砂士
- (12) 急性期脳梗塞患者における抗血栓薬および脳保護薬の併用療法に関する研究 (East-Study) (15,000 万)
 [研究代表者] 国立循環器病センター 名誉総長・山口武典
- (13) 孤立性収縮期高血圧におけるバルサルタンによる心血管事故発生頻度に対する検討 (VALISH) (13,100 万)
 [研究代表者] 大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科 教授・荻原俊男

- (14) 糖尿病動脈硬化症の発症予防と進展阻止に関する抗血小板薬治療効果の研究 (2,325万)
(DAPC Study)
[研究代表者] 順天堂大学医学部附属順天堂医院内科・代謝内分泌学 教授・河盛隆造
- (15) 軽症糖尿病に対する薬物介入による冠動脈病変の進展予防効果に関する臨床研究 (1,142万)
(DIANA 研究)
[研究代表者] 近畿大学医学部循環器内科 教授・宮崎俊一
- (16) 家庭血圧に基づいた高血圧の至適治療に関する大規模臨床試験 (HOSP 研究) (570万)
[研究代表者] 国立循環器病センター腎・高血圧内科 部長・河野雄平
- (17) 弁置換術後の脳梗塞発症及び脳高次機能異常予防のための標準的抗凝固療法確立に関する研究 (JaSWAT-1) (498万)
[研究代表者] 国立循環器病センター心臓血管外科 部長・小林順二郎
- (18) 脳動脈瘤塞栓術における抗血小板薬の有効性に関する研究 (475万)
[研究代表者] 国立循環器病センター脳神経外科 部長・宮本 享
- (19) 本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (9,500万)
(MAGIC 研究) 一心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として—
[研究代表者] 慶応義塾大学医学部血液・感染・リウマチ科 教授・池田康夫

3. 学会助成 (3,011万)

- (1) 第7回日本NO学会学術集会 (570万)
[会 長] 滋賀医科大学薬理学講座 教授・岡村富夫
[会 期] 平成19年5月17日～18日
[会 場] ピアザ淡海 (滋賀県立交流センター)
- (2) 第50回関西胸部外科学会学術集会 (1,539万)
[会 長] 国立循環器病センター 副院長・八木原俊克
[会 期] 平成19年6月21日～22日
[会 場] 大阪国際会議場

- (3) 第11回日本心不全学会学術集会 (902万)
- [会 長] 国立循環器病センター 病院長・友池仁暢
[会 期] 平成19年9月9日～10日
[会 場] ヒルトン東京ベイ

4. 研究・研修者助成 (400万)

- (1) 国内外研修派遣助成 (200万)
国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成
- (2) 国際協同研究等派遣助成 (200万)
海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成

【2】普及支援事業 (3,615万)

1. 研究業績発表 (160万)

- (1) 研究業績集の発行 (60万)
公募研究助成による前年度の研究の成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布
(公募自由課題研究助成 200部 50万円)
(循環器疾患看護研究助成 100部 10万円)
- (2) バイエル循環器病研究助成発表会 (100万)
バイエル循環器病研究助成による前年度の研究の成果を関連学会において発表
[テーマ] 脳虚血の治療
[会 場] 第33回日本脳卒中学会総会 (京都国際会議場)
[会 期] 平成20年3月21日～22日 (未定)

2. 学術活動支援 (500万)

循環器病に関するセミナー等に対する支援

3. 移植医療支援

(2,000万)

循環器病疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援

4. 予防啓発活動

(955万)

(1) 季報

(80万)

年間4回季報(別冊を含む。)を発行し、国立循環器病センターをはじめ関係国立病院・関係先などに配布
(@20万×500部×4号=80万)

(2) パンフレット

(840万)

【知っておきたい循環器病あれこれ】の新刊および増刷

循環器病の予防啓発パンフレットをシリーズで奇数月に15,000部発行し、国立循環器病センター、健康保険組合、各種講演会などで配布

(新刊 @110万×6号=660万)

(増刷 @60万×3号=180万)

(平成19年度分発行予定)

62	心筋症：新しい知見と治療	国立循環器病センター研究所 循環動態機能部室長 駒村和雄	平成19年5月1日
63	脳梗塞の新しい治療法 —tPA静注療法—	国立循環器病センター 脳血管内科部長 峰松一夫	平成19年7月1日
64	新しい画像診断 —MDCTを中心に—	国立循環器病センター 放射線科部長 内藤博昭	平成19年9月1日
65	まだタバコを吸っている方々へ	国立循環器病センター 予防検診部長 岡山 明	平成19年11月1日
66	未破裂脳動脈瘤と診断されたら	国立循環器病センター 脳血管外科医長 飯原弘二	平成20年1月1日
67	これからの循環器病センターの目指すもの	国立循環器病センター 総長 北村惣一郎	平成20年3月1日

(3) ホームページ (メンテナンス)

(35万)

<http://www.jcvrf.jp/index.html>

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）**(4,151万)**

厚生労働科学研究（循環器疾患等生活習慣病対策総合研究）推進事業

(単位：千円)

	事業区分	予算額	積算内訳
1	外国人研究者招へい事業	2,231	2人、14日
2	外国への日本人派遣事業	6,830	1人、6ヶ月
3	研究成果等普及啓発事業	2,190	研究者向け発表会2日、一般国民向け1日
4	若手研究者・研究支援者活用事業	29,370	7人、12ヶ月
5	研究支援事業	889	委員会謝金・旅費等
6	計	41,510	

【4】収益事業（特別会計Ⅱ）**(290万)**

無体財産権提供業：カラーアトラス「血管疾患」編集事業

【5】事業活動総括

事業活動区分		支出額
1	研究助成事業	72,559万円
2	普及支援事業	3,615万円
3	国庫補助金事業	4,151万円
4	収益事業	290万円
計		80,615万円

(注) 支出額には、助成事業管理費および財団管理費は含まれない。